

埼玉県知事

上田きよしレポート

No.75号

発行 清友会

朝霞市東弁財3-13-6 207

TEL 048-466-7566

FAX 048-463-6138

◎ホームページアドレス

<http://ueda-kiyoshi.com/>◎E-mail ueda@aya.or.jp

動の時代!!

表になったIMFの世界経済見通しによると、世界経済は2016年に3.2%だったものが3.6%と向いています。2016年にマイナス成長であったブラジル、ロシアがプラスに転じ、まさに世界同時好況のサイクルに入り、2018年もこの流れは変わらないと思います。

一方、世界経済が抱える悩ましい課題、つまり実態経済を遙かに上回る流動性を制御できるのかという問題です。常に短期的利益を求める尖った経済は貧富の差を拡大し、バブルの潜在危機につながります。

さらに、国際政治の局面は安定性に欠けます。世界の安定に貢献してきた米国はトランプ大統領の登場以来、ますます、その力を失いつつあります。力の論理を隠そうとしない中国・ロシアの存在、ヨーロッパの安定に寄与してきたドイツも揺らいでいます。中東も一つの波乱はドミノになりそうです。

政治の不安定が、世界経済に悪い影響を与えるかも知れません。日本海沿岸には北朝鮮の軍所有の漁船が11月から12月27日までに、1月から10月までの漂流漂着31隻分の約2倍の69隻も発見されるといふ不気味な様相です。北朝鮮の核・ミサイル開発との関連で気になるところです。

明るい話題に戻りましょう。いよいよ、一年後9月にはラグビーワールドカップがアジアで初めて日本で開催されます。熊谷市も開催地として県・市一体となって準備を進めています。オリンピック・パラリンピックは二年後、着々と準備を進め、大いに盛り上げ、多くのレガシーを残したいものです。今年も全力で頑張ります。ご指導ご支援よろしく願います。

昨年は埼玉県にとってはいい「動き」だったようです。スポーツでは花咲徳栄高校が甲子園夏の大会で圧倒的な強さで優勝しました。桐生祥秀選手が日本人で初めて10秒を切るという新記録を出しました。浦和レッズも最後はサッカーアジアリーグの優勝で存在感を示しました。一番すごいのはテレビドラマ「陸王」を通じて行田・埼玉県をアピールできたことです。

行田の足袋蔵のまちが日本遺産に認定されたのに続き、足袋シューズをめぐる零細企業と大企業の間人ドラムは池井戸潤氏の原作と配役とマッチして、しっかり行田市・埼玉県の風景が映し出されました。

少子高齢化が進む日本において埼玉県はまだ勢いがあります。人口増加率は沖縄県、東京都に続いて第3位。平成15年度から26年度までの11年間のGDPの増加額は愛知県に次いで第2位。企業本社の超過流入数(いわゆる純増加数)は第1位といった状況です。

もとより、高齢化のスピードは全国一ですが、その構成比は少ない方から5番目、6番目となりますので、悲観することはありません。

さて、今年ですが昨年10月に発



2017年活動アルバム



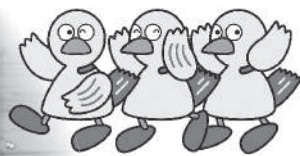
24日 3年前イベント 三宅義信 フラッグツアーアンバサダー



8月25日 とことん訪問
ドローン国内最大手の(株)エンルート
(朝霞市)



7月21日 とことん訪問
創業100年 機械式ボタン錠の
長沢製作所(嵐山町)



©埼玉県コバトン

移住100周年・在伯埼玉県人会創立60周年
DE COMEMORATIVA DOS 100 ANOS DE IMIGRAÇÃO DA PROVÍNCIA DE SAO PAULO
OS DE FUNDAÇÃO DA ASSOC. CULTURAL PROVÍNCIA DE SAO PAULO
2017年 09月 03日



9月3日 ブラジル県人会訪問(サンパウロにて)
一泊五日の強行軍



2月19日
シブヤン・シリーズ
第33弾『アテネのタイモン』
演出・主演 吉田鋼太郎 氏

▲ 10月28日 埼玉で開催!
2020東京オリンピックパラリンピック
1000日前イベント
スペシャルアンバサダー・スペシャル
PRサポーター

10月21日 近藤良平と
障がい者ダンスチーム「ハンドルズ」の公演



◀ 8月29日
「知って、肝炎プロジェクト」
広報大使 徳光和夫氏



8月18日 東日本大震災以来、全国知事会東日本復興協力本部長として
被災三県を毎年視察し、現地の声を国に届けている。

「オピニオン」★幼児教育

無償化について



埼玉県知事
上田清司

「幼児教育無償化」は、先の衆議院議員総選挙で多くの政党が公約の一つに掲げた。ちなみに、自民党の公約は「すべての3～5歳児と低所得家庭の0～2歳児の幼稚園・保育園の費用を無償化する」である。無償化という国民に受け入れられやすい政策であるからか、選挙期間を通じて無償化だけがアピールされていたように感じられ、残念に思う。

当然ながら、無償化の前にまず保育所の待機児童を解消すべきだとの指摘が上がっているが、私もその通りだと思う。

また、現行の認可保育所における保育料の利用者負担額は、世帯所得に応じて決められている。低所得世帯においては既に保育料が減額または免除されているため、今回の無償化によって最も恩恵を得るのは富裕世帯ということになるが、果たしてこれでよいのかとの疑問もある。

私が懸念するのは、「何のために、誰に、何を支援するか」という政策の最も基本的な部分があいまいなまま議論が進んでいることである。無償化の範囲などについて安倍晋三首相は「詳細な制度設計については専門家の意見も聞き、来年の夏までに結論を出したい」としているが、私は、より大きな視点から国民的な議論をもっと深める必要があると考えている。

そもそもここに来て幼児教育の重要性が広く認識されてきたのは、米国の研究報告による。これは、子供が将来社会で生き抜いていくためには、学力だけでなく自己肯定感ややり抜く力などの非認知能力が重要であり、この非認知能力の形成には就学前の教育が極めて重要である、というものである。

格差の拡大や「コミュニティの希薄化により家庭や地域の教育力が低下していることや、これからの人工知能やロボットの時代を踏まえ、幼児教育の質と量の両面においてその充実を図る必要がある。この観点から言えば、幼児教育の提供は無償化という単なる金目の問題で済む話ではない。全ての子供に良質の幼児教育を受ける機会を保障するということが政策の目的とされなければならない。無償化はその手段であって目的ではないのである。

全国どこでも一定レベルの幼児教育を保障するためには、教育内容の指針や施設、教育人材を整える必要がある。

特に、個人や環境による発達差が大きい幼児教育の質的向上のためには、子供一人一人に対してよりきめ細かい対応ができる教育人材の充実が最も重要となる。

この点について、今はきめ細かい対応どころか、最低限必要な保育人材の確保さえ難しい状況だ。優れた保育人材を確保するためには一時的な処遇改善ではなく、研修などで保育人材の教育的専門性を高め、質の高い専門性にふさわしい給与で報いるという考え方が必要なのではないだろうか。

幼児教育無償化だけでは、親に対する経済的支援で終わってしまう、富裕層も含めて無償化する政策的意義は薄い。忍耐力や愛情、個性を認めるなどの美質を育み、ルールを守るといったことを学ぶ



▲ 10月19日
イタリアオリンピック委員会と埼玉県・所沢市・早稲田大学との締結式

10月3日
ジョン・コーツIOC
東京オリンピック
競技大会調整委員長

8月7日 駐日インドネシア共和国
タスリフ特命全権大使

東京オリンピック・パラリンピック キャンプ地続々決定！

ブータン（寄居町）
オランダ（さいたま市）
ブラジル（新座市）
イタリア（所沢市）
ミャンマー（鶴ヶ島市）

ためのプログラムが重要だ。そのような「質の高い幼児教育」を保障する、と政策の目的を置き換えることで、初めて全ての子供を対象とする意義が生まれる。それが、政府の掲げる「人づくり革命」や「全世代型社会保障」にふさわしい内容になるのではないか。（了）

時事通信社「オピニオン」に
寄稿している「ラムより」
（平成29年12月18日号）



8月22日 ASEAN諸国大使等
歓迎レセプションにてフィリピン大使



7月20日 ヴィロード・スンダーラー
駐日オーストラリア大使



12月4日 シェーリー・ヨン
香港経済貿易代表部主席代表



12月15日 東京23区 特別区長会正副会長との座談会

新年総会のご案内

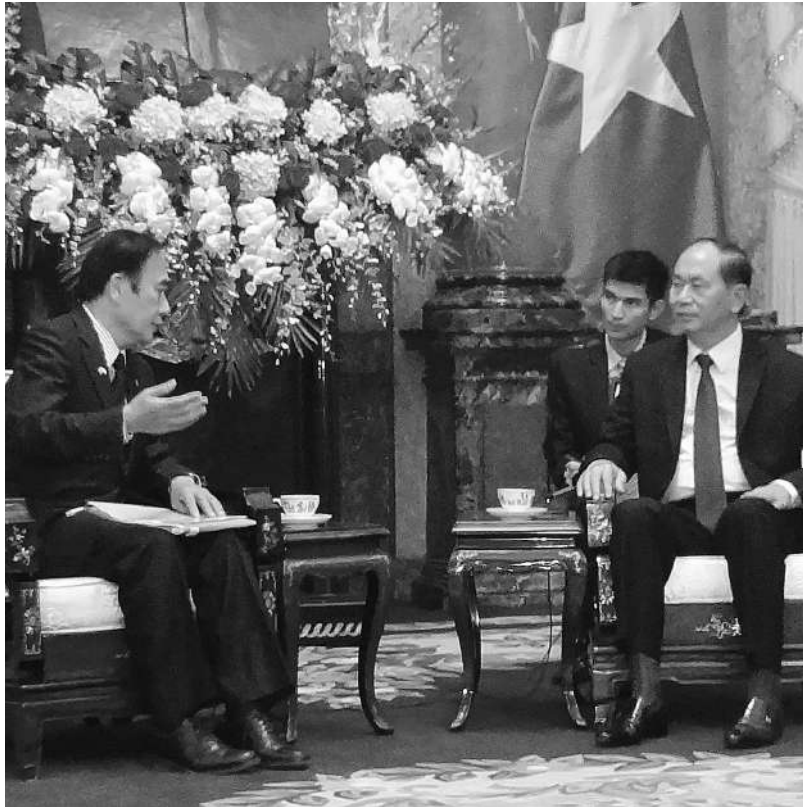
四市清友会

とき 平成30年2月18日(日)
☆開場 12:30 開会 13:00

ところ ベルセゾン
新座市東北 2-27-14
TEL.048-475-1122

会費 3,000円
主催 清友会

朝霞市東井財 3-13-6-207 TEL.048-466-7566



ベトナム訪問
去る10月31日～11月3日にかけてベトナム社会主義共和国を訪問しました。在ベトナム日本大使などがなかなか会えない、国家主席(元首)やホーチミン市序列一位の市書記、ハノイ市長などと会談をし、埼玉県企業進出などについて意見交換をしてきました。



INH TRƯỞNG VÀ PHÁI ĐOÀN TỈNH SAIGON



2017.11.2 ▶
チャン・ダイ・クアン
ベトナム国家主席と



2017.10.31 グエン・ティエン・ニャン
ホーチミン市共産党書記



2017.11.2 グエン・ドゥック・チェン
ハノイ市人民委員会委員長(ハノイ市長)

2017.11.1 越日工業大学での講演

▼ 2017.10.10 埼玉新聞より

さきたま抄

議論を生業とする政治家の「言葉の劣化」が最近つとに目立つ。都議選でもそれが自民党惨敗要因の一つに挙がった。言葉の乱れは政治の信頼低下に直結する▼多様な考えがある公衆に自らの主張をいかに正確に伝えるかは政治家にとって大切な資質。その意味で上田清司知事は言葉を磨く作業を怠らない政治家である▼知事は2010年5月から自身の政策や埼玉の伝統文化、世相などに関する思いをつづったブログ「知事の太鼓」を毎日(休日・祝祭日除く)発信する。分量は1話につき新聞記事で70行程度。県政記者時代から県のトップの発言には注視してきたが、7年でその数は1600話を超える▼論調は記者会見で聞く「上田節」と同じ。文体はそれぞれの話題に客観指標を示しながら主観を書き込むのが主で、人柄もにじみ出る。関東でこれだけの分量を日々更新する都県知事は他にいない▼不特定多数に発するブログだけに知事の政策や主張に対する異論も当然あるだろう。だが批評がなければ主張は磨かれない。人の心に響く言葉は生まれない。思いを文にし表現する作業は「自分の言葉」を紡ぎ出す作業でもある。小池旋風の中、大量当選した都議のうち自身の主張で当選した議員は何人いたのか▼計算が正しければ、上田知事のブログはきょうで通算1673話目となる。政治家の言葉について思いを聞いてみたい。

2017・7・10



飲む温泉
観音温泉

駅前教習! 埼玉とだ



埼京線
戸田駅東口
徒歩3分!

平日夜、
9時
まで営業!

きめ細やかな
送迎!

自動車学校



フリーダイヤル 0120-0120-019994

フリーダイヤル 0120-0120-885529

※他の割引サービスとの併用はできません。普通車教習のみ適用になります。